

1 学校評価の年間計画

- ア 4月当初に本年度の重点目標を決定する。
- イ 本年度の重点目標をもとに、4月中旬までに各分掌とも課題別評価シートを作成する。（重点目標及び具体的対策や留意事項を決定する。）
- ウ 9月に中間評価として、課題別評価シートに基づく評価活動を実施。（問題の明確化と改善策の検討）
- エ 1月に年度末評価として、課題別評価シートに基づく評価活動を実施。（反省と改善策の検討）次年度の課題及び目標を決定する。
- オ 定期的に学校評価委員会を開催する。（外部評価の内容・方法等の検討）
- カ 学期に1回、学校関係者評価委員会を開催し、学校評価の取組状況に対しての意見や校内見学、視察による意見聴取をするなど、積極的に意見を求める。
- キ 学校評価の取組結果は、PTEA総会、PTEA委員会・役員会、ホームページ等で公開する。
- ク 研究授業等を推進し、分かりやすい授業への取組を推進する。

2 本年度の学校評価

本年度の重点目標	①基礎学力の向上を図り、基礎から応用につながる指導を強化する。②社会人として通用する人間教育に全力であたる。③コミュニケーション能力の向上につながる方策を実践する。		
項目（担当）	重点目標	具体的な方策	評価結果と課題
生徒指導 （生徒指導部）	<ul style="list-style-type: none"> ・社会人となるための基礎的モラルやマナーの体得 ・刈りつけた基本的生活習慣の確立 ・規則遵守と自ら考え、行動できる生徒の育成 ・交通安全意識の涵養 ・いじめのない学校生活の構築 	<ul style="list-style-type: none"> ・情報機器の取り扱いに関するマナーの徹底をしていく。 ・規則を理解させ、授業・ST等の時間厳守の徹底、頭髪服装指導の実施及び集会等での礼法指導を徹底する。 ・正しい行動選択をできるように予防的支援を行う ・交通安全講話を実施し、安全意識の高揚をはかる ・他者との関わり方について、集会等を活用し考える機会を作る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・大きな問題にはならなかったが、SNSを利用した個人情報漏洩に関する指導を1件行った。次年度以降も情報モラルに関する生徒意識が徹底できるよう、正しい使い方・TPOに応じた使い方の指導の徹底を図りたい。 ・遅刻延べ数は減少傾向にあるものの、遅刻が度重なる生徒に対して4件指導を行った。指導部指導まで至らなかった生徒を含め、まずは遅刻連絡がちゃんとできるように粘り強く指導していきたい。 ・学校生活支援活動は計18件となったが、人間関係によるトラブルで支援活動となったのは3件だった。安心・安全な学校生活が生徒間の意識で作れるよう、今後も関わり方を考えさせ、未然に防ぐよう指導したい。
学習指導 （教務部）	<ul style="list-style-type: none"> ・授業欠課時間数の減少 ・学習意欲を高める ・外国人生徒支援の充実 	<ul style="list-style-type: none"> ・欠課時間数の多い生徒に適宜指導を行う。 ・業前業後の学習会、学習指導期間の活用により、個別指導の充実を図る。 ・卒業後の進路を見据えさせ、学習意欲の向上を図る。 ・日本語の理解が低い外国籍生徒に対する支援を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・欠課時間数が増加した20名の生徒に対して教務部から指導を行なった。これを境に出席状況が好転した生徒も多かった。 ・考査前の学習指導期間に指導を行う先生が多く見られた。また、学年末考査に向けて単位修得が危ぶまれる生徒に対象に行なった特別補習では多くの生徒が前向きに取り組んだ。 ・今年度入学の外国人生徒は、積極的に学習会に参加した。その成果もあり、日本語能力試験1級、3級の合格者が出た。
就労及び進路指導 （進路指導部）	<ul style="list-style-type: none"> ・キャリア教育の推進 ・進路相談支援の推進 ・自立意識と職業観の育成 	<ul style="list-style-type: none"> ・キャリア教育に関する講話を実施する。 ・進学支援を実施する。 ・進路希望調査を実施し、個々の進路への意識を高める。 ・企業訪問を実施する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今年度は地域の企業にご協力いただき、初めて企業見学と地元企業説明会を実施した。この経験を通して、職業観や勤労観を養い、またキャリア教育に結びつけることができた。 ・進路希望調査を実施し、個人面談や保護者会に活用した。

		<ul style="list-style-type: none"> ・地域の支援施設と連携を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・職員による企業訪問や地域の情報交換会へ積極的に参加し、本校定時制課程に対する理解を図った。 ・夏休み期間中の就職指導を通して、職業観や勤労観を育むとともに、生徒個人の長所を理解させ、今後の目標設定に繋げることができた。
保健指導 (保健部)	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒情報の共有と連携した組織対応 ・適切な生活習慣の定着 ・適切な感染症対策の継続 	<ul style="list-style-type: none"> ・「教育相談委員会」を開催し、生徒情報の共有と具体的な対策を練る。 ・保健だよりや全校集会などの場を活用し、生活習慣の見直しを喚起する。 ・引き続き手洗い、換気、手指消毒の継続を促す。 	<ul style="list-style-type: none"> ・定期的な教育相談委員会を開催し、各クラスの生徒情報や問題点を共有することができた。また、全職員で対応策を検討することもできた。 ・保健だよりや保健部講話、長期休み前後の全校集会などで生活習慣についての情報発信をすることで生徒への意識づけをすることができた。 ・給食時や放課時の声掛けによる意識づけや、複数個所への手指消毒液の設置により継続的な感染症対策を促すことができた。
P T E A 活動 (総務部)	<ul style="list-style-type: none"> ・PTEA 活動の推進 ・学校教育活動に対する理解を深める ・防災に対する意識の定着 	<ul style="list-style-type: none"> ・PTEA 総会や役員・委員会を実施し連携を深める。 ・保護者懇談会を実施する。 ・激甚災害に向け、防災訓練を充実させ、情報を発信する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・P T E A 総会等を通して生徒の様子を発信し、地域社会と連携しながら生徒の学校生活を充実させることができた。 ・防災訓練では、速やかに生徒を避難させることができた。また、帰宅困難生徒を把握するなど帰宅方法について考えさせることができた。 ・総務部講話を通して、激甚災害が起きた時に適切な行動をとれるように情報発信できた。
専門教育 (機械科)	<ul style="list-style-type: none"> ・安全意識を高く持ち、実習を行えるようにする。 ・社会で通用する技術技能を身に付けさせる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・安全作業を徹底し、実習態度を改善する。 ・専門教科や実習を通じて機械の扱い方や知識を身につける。 	<ul style="list-style-type: none"> ・年度当初に安全教育を実施し、事故防止のために注意喚起に務めた。しかし、ヒヤリハット案件が1件出てしまった。今後はより一層危険予知に関する情報を教員間で共有し、生徒が安全に技術を習得できる環境を提供できるようにしたい。 ・専門的な知識を深められるように希望生徒を募り、技能検定の取得を目指して補習等を実施した。前期では5名の生徒が受験し、技能検定(旋盤作業)で2級に3名、3級に2名合格者を出すことができた。
学校関係者評価を実施する主な評価項目		<ul style="list-style-type: none"> ・基本的生活習慣の確立 ・進路指導の充実 	